

## 台風19号による応援給水を行いました

令和元年9月19日、20日と台風19号が日本列島を直撃し、さまざまな地域で大きな被害がありました。滝沢市では一時的な停電などはあったものの、大きな被害には至りませんでした。が、岩手県内でも特に沿岸地域で浸水や断水などの被害が相次ぎました。

このことを受け、日本水道協会岩手県支部として、滝沢市上下水道部から職員を計6日間派遣し、宮古市各所で給水車による応援給水を行いました。

給水地点には、たくさんの方がいらして、中には大きなタンクを持って何度も足を運ぶ方もいました。「水道」がいかに必要かを改めて実感する機会となりました。

応援給水に駆け付けた自治体に対する割り当てや指示など、宮古市の上下水道部の災害対応から学ぶことができました。



宮古市内の被災状況



ポリタンクに給水



給水コンテナへ注水

## 盛岡市上下水道局と合同訓練を行いました

令和元年10月17日に盛岡市と滝沢市の相互連絡管を使用した応援給水訓練を行いました。

相互連絡管とは、盛岡市と滝沢市の境目をつなぎ、災害時などに水を融通しあうために作られた管のことです。

盛岡市と滝沢市をつなぐ連絡管は、六口地区内に2か所、大沢地区と篠木地区に各1か所の4か所にあります。訓練では実際にそれぞれの箇所を通水の手順を確認しました。いざという時に、水の供給が止まらないようにするために、それぞれの市で協力し合い、定期的に作業手順を学ぶ訓練を行っているのです。



## みなさんの声

ちやぐ水だよりには、これまで様々な感想や質問などが寄せられてきました。その中から、災害に関連したものを紹介いたします！



地震大国と言われる日本に住んでいる以上、災害は突然やってきます。普段から備蓄を考えたと思います。



現在滝沢市で保有している給水車は1台とのことですが、将来的に増やす計画はありますか？

幸いにも、滝沢市で災害が発生し給水車が稼働したという実績はなく、今のところ給水車を増やす計画はありません。

なお、災害時には広域で助け合う体制が構築されています。



千葉県は長期に断水が続く、どんなに不便だったことでしょうか。滝沢市の水はそんな心配もなく水もきれいで本当にありがたいことです。

みなさんの災害に対する関心が高まっていることが感じられました。今後もちやぐ水だよりなどを通じて、必要な情報を発信していきたいと思えます。